

面接試験の重要性!



なぜ企業は面接をするのか?

企業が採用試験の中で、もっとも重視しているのが面接試験です。面接官は、さまざまな質問を通して「会社にとって必要な人材かどうか」を判断するために面接試験を実施します。

試験のポイント (①②の部分面接から判断)

- ① 組織の中の一員として活躍してくれる人物なのか?
- ② お互いに協力し合って働く協調性はあるのか?



面接指針

志望動機と自己PRは面接で必ず聞かれる質問です

志望動機

数ある中から受験先を選ぶには、本人の中で何らかの基準があるはず。なぜそこを選んだかという明確な理由を説明し、かつ、面接官に就職したいという熱意がうまく伝わるように話さなければなりません。

模範解答だけではアピール不足!

どこにでもあるような、いわゆる模範解答を話すだけでは面接官へのアピールになりません。そのためには事前の会社研究が重要です。

なぜ当社なのか?

面接官の目

同じ業種がたくさんある中でなぜこの会社を選んだのか?

受験者本人の目的意識や意欲、会社に対するイメージなど入社後のことまでを見通してあなたの全体像を確認します。

自己PR

自分の良い面をアピールしよう!

自分のことを初対面の人に紹介するのは意外と難しいことですが、自己PRは面接官にインパクトを与えられるチャンスでもあります。人とは違った自分の良い面をぜひアピールしましょう。

しかし、笑いを取ろうとしたり、不真面目な態度で臨んではいけませんし、いいところを見せようと嘘をついたりすることはもちろんダメです。

人物全体像を確認します!

面接官の目

- ・自分のことをうまく紹介できるか?
- ・自己分析をきちんとしているか?
- ・当社にふさわしい人物か?

などの、志望動機とは違った角度から人物全体像を確認します。

面接で話すことの準備

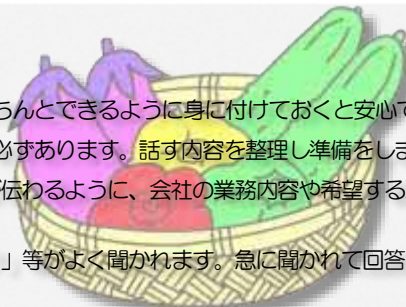
- ★ 自己紹介
- ★ 自己PR
- ★ 志望動機
- ★ 学校の話

面接では必ず最初に学校名と名前を名乗るので、意識しなくてもきちんとできるように身に付けておくと安心です。

面接官によって質問の仕方はさまざまですが、自己PRする時間が必ずあります。話す内容を整理し準備をしましょう。

応募の理由は必ず聞かれます。「この会社で働きたい」という意欲が伝わるように、会社の業務内容や希望する職種の仕事内容をきちんと理解して話せるよう準備をしましょう。

「好きな教科は?」「学校生活で頑張ったことは?」「どんな校風か?」等がよく聞かれます。急に聞かれて回答に詰まらないように、準備をしましょう。



自己を過大評価した瞬間から思考の硬直が始まる。

—— 野村 克也 (元プロ野球選手・元監督〈ヤクルト・阪神・楽天〉) ——